

地方自治法の規定に基づき工事監査を実施したので、その結果を飯塚市監査規程第22条の規定により、次のとおり告示する。

令和2年2月25日

飯塚市監査委員 篠崎 充 俊
飯塚市監査委員 城丸 秀 高

記

1 監査の実施期間

令和元年11月15日(金)から令和2年2月17日(月)まで

2 監査の対象部課

都市建設部 建築課

3 監査対象工事

- (1) 穂波庁舎大規模改修工事
- (2) 穂波庁舎大規模改修(電気設備)工事

4 監査の方法

今回の監査に当たっては、工事が法令等に準拠し適切かつ効率的、経済的に執行されているか等を主眼とし、次のとおり実施しました。

- (1) 事前に当該工事の関係書類(工事概要書、積算書、工事図面一式)の提出を求め予備監査を行いました。
- (2) 工事担当課より工事の状況の説明を受け内容を把握しました。
- (3) 工事監督員同行の上、施工現場に赴き、工事監督員等から施工管理状況等についてのヒアリングを実施し、施工状況及び安全管理状況を精査しました。
- (4) 調査にあたっては、工事に関する専門的知識を有する特定非営利活動法人西日本建設技術ネットに所属する技術士及び一級建築士から技術面での助言を受けました。

5 監査の結果

穂波庁舎大規模改修工事及び穂波庁舎大規模改修(電気設備)工事は、事業計画、設計、施工の各段階と成果とも、良好であると認められました。

今後も関係者と調整を図りながら、安全や環境に留意され竣工することを要望しま

す。

なお、特定非営利活動法人西日本建設技術ネットからの工事技術調査報告書は別添のとおりです。

飯 塚 市

令和元年度 工事技術調査報告書

提出日：令和2年1月29日

特定非営利活動法人 西日本建設技術ネット
技術士（建設部門） 吉川 正
一級建築士 淀川彰範

調査実施日 令和2年1月16日(木)
調査場所 飯塚市本庁舎203会議室及び当該工事現場
監査執行者 代表監査委員 篠崎 充俊
監査委員 城丸 秀高
調査立会者 監査委員事務局長 林 利恵
主査 安田 洋一
主査 小鶴 崇

調査対象工事

- I 穂波庁舎大規模改修工事
- II 穂波庁舎大規模改修（電気設備）工事

I. 調査の概要

まえがき

令和元年度飯塚市工事監査(随時監査)において、都市建設部建築課発注による下記の工事について、令和2年1月16日に、技術士と一級建築士が技術調査した結果を報告するとともに、調査時にも提示した改善のための、技術的な助言を合わせて付記する。

I. 調査の概要、II. 結果の総括、III. 調査の結果、に分けて記述する。

調査方法として、技術調査の対象工事に関する事業計画、設計、積算、工事発注・契約、施工、監督、検査等に係る事項について、技術的観点から調査した。午後からは監査委員に同行して現場調査を行った。

技術調査の着目点は、①事業の必然性、②設計の合理性、③積算の根拠性、④特記仕様書等の運用性、⑤工事契約の合規性、⑥工事監理の適切性、⑦工事の安全性確保である。

調査に際しては、担当部署の監督員や設計監理の方々に説明していただいた。

技術調査へのご協力に感謝申し上げますとともに、本報告書が今後事業の改善と円滑な実施に役立てば幸いである。

工事の概要は、以下のとおりである。

1. 工事内容説明者

都市建設部 部長 堀江 勝美
〃 次長 中村 洋一
〃 建築課 課長 外崎 正剛
〃 〃 建築第2係長 後藤 太
〃 〃 建築担当 岩下 武史
〃 〃 電気 〃 河野 達也



工事監理 藤川一級建築士事務所 藤川 義清

2. 工事概要

(1) 工事場所 飯塚市忠隈地内

(2) 工事数量

■建築工事

・屋根改修工事	カバー工法	1959㎡
・外壁改修工事	100角タイル仕上げ	76.2㎡
・防水改修工事	改質アスファルトシート防水	15㎡
	ウレタン塗膜防水	898㎡

■電気設備工事

- ・避雷設備工事 アルミ導体338m
- ・既設発電機改修工事 1式

- (3) 設計者〔委託〕 藤川一級建築士事務所
選定方法：指名競争入札
設計業務委託：6,116,040円
- (4) 工事監理 藤川一級建築士事務所
選定方法：随意契約
工事監理業務委託：1,925,000円
- (5) 工事請負会社 建築工事：大和興業株式会社
選定方法：総合評価入札方式（簡易型）

電気工事：大一通信工業株式会社
選定方法：指名競争入札方式
- (6) 請負金額 建築工事：177,210,000円
電気工事：5,063,300円
- (7) 契約年月日 建築工事：令和元年9月26日
電気工事：令和元年10月2日
- (8) 工期 建築工事：令和元年9月26日～令和2年3月24日
電気工事：令和元年10月3日～令和2年3月24日
- (9) 工事進捗率 50%程度（令和2年1月16日現在）
- (10) 工事監督員 都市建設部 建築課 建築第2係長 後藤 太
建築担当 岩下 武史
電気〃 河野 達也

II. 結果の総括

技術調査の結果を総括すると、事業計画、設計、施工の各段階と成果とも、適切な内容と施工と監理が行われていると確認できた。

市民が公共工事に求める①品質（Q）、②コスト（C）、③工期（D）の“需要の三要素”で評価する。

- 1 品質：修繕工事は50%程度進捗している。工事関係書類や現場状況によれば、設計品質は確保され则认为する。
- 2 コスト：積算は建築事務所で実施され、担当課でチェックされている。積算内容は適切である。
- 3 工期：当初工期である3月24日には竣工する見込みである。
つまり、品質、コスト、工期ともに問題はない。

Ⅲ. 調査の結果

I 穂波庁舎大規模改修工事

1. 工事発注までに関する事項

(1) 事業について

穂波庁舎は平成6年に新築され、25年が経過している。屋根や外壁に老朽化が見られたので、このたび大規模修繕を実施するものである。(①事業の必然性)

(2) 設計について

ア) 設計は、「藤川一級建築士事務所」に委託している。

イ) 3者の指名競争入札で、「藤川一級建築士事務所」が落札した。

ウ) 軒先幕板の形状については、「地域のシンボリックな建築物であり、従来の形状を原形復旧したものです。」との説明を受けた。

エ) 設計報告書を調査し、概ね適正に設計されていることを確認した。(②設計の合理性)

(3) 積算について

ア) 積算は、業務委託の建築事務所で実施した。

イ) 仮設工事費、現場管理費及び一般管理費等は、担当課で実施した。

ウ) 物価本など刊行物に記載されている単価では、これを採用している。

エ) 物価本にはないものは、特殊単価として扱っている。

オ) 特殊単価では3者から見積を徴収し、比較を行い適正な低減率を掛けて「決定単価」としている。これは正しい手続きである。(③積算の根拠性)

カ) 今後も製品分野による違いに応じて、低減率の処理を行うことが望まれる。

キ) 担当課内での設計・積算業務は、担当者を明確にして実行されている。チェック者、清算者、承認者が責任をもって、その機能を果たしている。

(4) 特記仕様書について

特記仕様書は、設計図面に必要な事項について記載されている。(④特記仕様書等の運用性)

(5) 入札・契約について

ア) 入札は、総合評価入札方式（簡易型）で実施されている。

イ) 応募した5者について、必要事項を調査し、点数評価して適正に請負者が選定されている。入札したのは4者であった。

ウ) 契約関係書類が正しく整えられていることを確認した。(⑤工事契約の合規性)

エ) 予定価格（193,343,700円）に対する落札金額の割合は、91.6%となっている。

2. 工事着工後に関する事項

(1) 施工計画書について

全体施工計画書、工種別施工要領書が作成されていることを確認した。

(2) 下請管理について

下請管理については、「施工体制台帳」、「施工体系図」が提出されていることを確認した。

(3) 設計監理

現場での設計監理は、設計と同じ建築事務所が担当している。毎週の工程会議や立ち合いなどが、監理報告書として整備されている。

(4) 担当課による工事監督について

ア) 担当課を含めて、市役所内の書類は決裁者が甲乙丙などと明確に識別されており、関係者の回覧印も完全に揃っているので問題ない。ほかの自治体に比べて、かなり質の高い状態です。

(⑥工事監理の適切性)

イ) 発注毎の書類が、設計委託契約書、工事監理委託契約書、工事請負契約書として、保存・管理されているが、一連の事業として、必要書類を容易に見つけ出せる方法の検討をお願いしたい。

(5) 安全管理について

現場の安全管理は、来庁者の通行と、工事区分を分けており、かつ、必要箇所にはガードマンを配備している。安全が確保されていることを確認した。(⑦工事の安全性確保)

(6) 工事の今後について

ア) 工期は、まだ約3カ月残されています。

イ) 工事の進捗は50%程度であるが、工期までに問題なく終了すると思われる。

ウ) 仮設足場を設置後に詳細調査を実施して施工数量を確定しています。実施数量について、適正な清算をお願いします。

エ) 今後とも、安全や環境に留意され、竣工することをお願いします。

II 穂波庁舎大規模改修（電気設備）工事

1. 事業と工事概要

この電気設備工事は、I 工事の建築に付随した工事であるので、事業概要は前項と同じであり、省略する。

工事概要は、下記のとおりである。

■電気設備

- ・ 避雷設備工事 アルミ導体 3 3 8 m
- ・ 既設発電機改修工事 1 式



2. 設計について

電気設備の設計は、I 工事を設計した藤川一級建築士事務所が担当した。

3. 積算について

積算は、I 工事と同様に実施されている。

4. 入札・契約について

10 者の指名競争入札で、大一通信工業株式会社が落札している。

契約金額（税込）は 5,063,300 円で、予定価格（5,688,100 円）に対する契約金額の割合は、落札率は 89.0% である。

5. 設計監理について

I 工事と同様に、藤川一級建築士事務所で行っており、設計監理の状況は良好であった。

6. 現場の確認

建築改修工事の屋根工事に並行して施工されている。今後は竣工に向けて、建築工事と調整を図りながら無事故での完工をお願いします。

以上